

MATE.

MATE City 2.0 OWNER'S MANUAL

オーナーズマニュアル

ORIGINAL INSTRUCTIONS

READ BEFORE YOU RIDE



CONGRATULATIONS

これであなたも MATE.BIKE の正式なオーナーです。
MATE.BIKE を組み上げる際は、本マニュアルに記載されている手順や説明を十分にご理解いただくようお願いします。
とくに安全上の注意事項については、重要な内容となりますので、お乗りいただく前に必ずご確認ください。

また MATE.BIKE オーナーの皆さまには、ご納車より2週間以内にオーナー登録を済ませていただくようお願いしております。お客さまが車体の持ち主であることの証明や、国内正規保証の対象となるために必要な大切な登録です。

ご納車の際にお渡しした（お届けの場合は外装ボックス側面に貼付）オーナー登録用紙の番号と、MATE.BIKE に刻印されている車体番号が一致していることをご確認ください。
用紙の登録用 QR コードをスキャンすると、お客さまのモバイルデバイスからも簡単にオーナー登録が可能です。

登録用の QR コードを紛失してしまった場合や、読み取りできない場合には、以下フォームよりお問い合わせをお願いいたします。



愛を込めて、
MATE.BIKE JAPAN

MANUAL MODEL
MATE CITY 7 SPEED / 250W / 13AH / 36V

FRAME NUMBER

車体番号の確認

ボトムブラケットの下側（丸で囲まれた部分）に、お客様の MATE.BIKE の車体番号が刻印されています。

MATE.BIKE の紛失や盗難に備えて、記載の番号をこちらにお控えください。
WMAB の後に数字、そして製造年を表す文字が続きます。

盗難や紛失の場合には、保険会社や最寄りの警察署に、本車体番号をお伝えください。
所有者であることを証明するために、ご購入時のレシート、および外装に貼付されているオーナー登録用紙を大切に保管いただきますようお願いいたします。

氏名 _____

車体番号 _____

モデル・カラー _____

ご購入日 _____



TABLE OF CONTENTS

GET TO KNOW YOUR MATE. MATE.BIKE をよく知るために	5
THE MATE.BIKE PACKAGE MATE.BIKE パッケージ	6
SAFETY FIRST 安全第一のために	7
ASSEMBLING YOUR MATE. FOR THE FIRST TIME MATE.BIKE を組み立てる	8
HOW TO ADJUST FRAME FOLDING LEVER 折りたたみレバーの調整方法	9
THE COMPUTER DISPLAY 液晶カラーディスプレイ	11
HOW TO OPERATE YOUR MATE. MATE.BIKE の操作方法	12
FOLDING / UNFOLDING YOUR MATE. MATE.BIKE を折りたたむ / 広げる	13
BATTERY バッテリー	14
SETTING UP MATE. FOR YOUR PERFECT FIT 快適なライドのために	18
サドルを調整する	18
ハンドルバーを調整する	19
ギアを操作する	20
HOW TO ATTACHMENT REFLECTOR リフレクター取り付け方法	21
フロントリフレクターを取り付ける	21
リアリフレクターを取り付ける	22
スポークリフレクターを取り付ける	22

BEFORE YOU RIDE CHECKLIST 乗る前にチェックする項目	23
MAINTENANCE メンテナンス	24
SPECS 仕様一覧	27
REPLACEMENT PARTS パーツの交換	29
GENERAL TIPS MATE.BIKE を長く楽しむコツ	29
WARRANTY 保証	30
TROUBLESHOOTING トラブルシューティング（故障かな？と思ったら）	32
OUR STORES MATE.BIKE 直営店	34

☒ アクセサリーパーツの取り付け方法についてはこちら

重要用語について

オーナーズマニュアルでは事故を未然に防ぐために、車体の取り扱いや乗車方法について以下のマークを使用して説明しています。これらの注意事項は必ず読み、完全に理解してからご使用ください。

△警告：このマークは、使用者が取り扱いを誤った場合、「死亡または重症など重大なリスクが伴う可能性が想定される」内容です。

□厳重：このマークは、「使用者が必ず実施しなくてはならない」内容です。

GET TO KNOW YOUR MATE.

MATE.BIKE をよく知るために

1. サドル
2. シートポスト
3. シートポストクイックリリースレバー
4. リアサスペンション
5. ディスクブレーキローター
6. タイヤ
7. スポーク
8. ハブモーター
9. カセットスプロケット
10. リアディレイラー
11. チェーン
12. ハンドルバー高クイックリリースレバー
13. ペダル
14. クランクセット



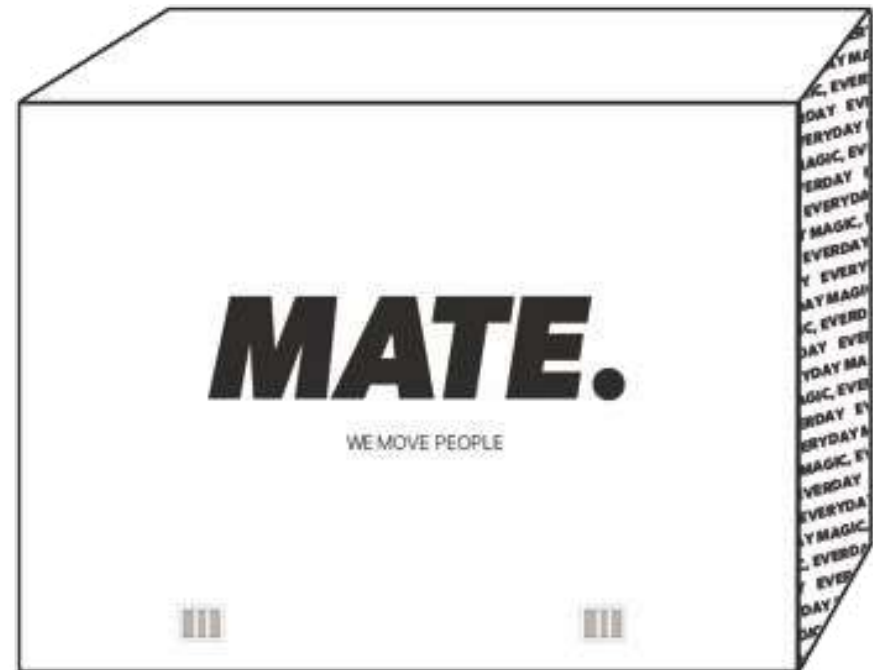
15. 充電口（裏面）
16. バッテリーキーロック
17. 折りたたみレバー
18. 液晶カラーディスプレイ
19. ハンドルバー
20. ブレーキレバー
21. ハンドルバーステム
22. フロントサスペンションフォーク
23. ディスクブレーキキャリパー
24. フロントハブ
25. リム
26. ホイールクイックリリース
27. 内蔵バッテリー
28. ハンドルバーステム垂直ロック

THE MATE.BIKE PACKAGE

MATE.BIKE パッケージ

到着後、外装ボックスに破損等の問題がないことを確認したら、いよいよ開封です。
パッケージには以下のものが入っています。

- MATE City 2.0 本体
- バッテリー
- バッテリーキー
- バッテリーチャージャー
- リフレクターセット
- オーナー登録用紙（外装ボックス側面）



SAFETY FIRST

安全第一のために

本マニュアルに記載されているガイドラインを守ることは、すべてのライダーの安全を確保し、MATE.BIKE の耐久性を最大化するために非常に重要な項目です。

- ・ 初めて MATE.BIKE に乗る際は、必ず正しく組み上げられていることをお確かめください
マニュアルでは、順を追って説明します。適切に完了させる必要のある主な組み立て手順は、ペダル（13）、サドル（1）の高さ、ハンドルバー（19）の動きと高さです
- ・ 各クイックリリースレバーが正しくロックされ、動くことなくぴったりと固定されていることを確認してください
- ・ 前後輪・サドルボルト・ブレーキローターを含むすべてのボルトが正しく締められていることを確認してください。ハンドルバー（19）のボルトをしっかりと締める際、ハンドルバーステム（21）とトップキャップ（ハンドルバーの露出部分）の間のスペースが、ハンドルバーの両側で均一な幅であることを確認してください。この作業を怠ると、ボルトが外れたり、ハンドルバーが緩む恐れがあります
ハンドルバーボルト：6-8Nm、ハンドルバーステムボルト：13-15Nm、パーエンドボルト：4-5Nm、サドルボルト：22Nm
- ・ サイクリングに不慣れな方は、一度サイクリング講習を受けられることをお勧めします
- ・ MATE.BIKE をお使いになる前に、毎度ブレーキのテストを行ってください。雨天時や凍結時は、特にご注意ください
- ・ タイヤ（6）の空気圧が低いと、車体の寿命を縮めるだけでなく、パンクする恐れがあります。また操作性が損なわれ、コントロールが難しくなる可能性があるため、空気圧は頻繁に確認してください
- ・ ヘルメット着用をお勧めします（日本国内では、現在努力義務となっております）
- ・ 交通法規など、適用されるすべての法律を遵守してください

- ・ 飲酒運転はしないでください。少量のアルコールでも判断力を低下させ、安全に運転する能力を低下させる可能性があります
- ・ 悪天候、氷雪、夜間は運転が不安定になることがあります。必要に応じて対策をとってください
- ・ MATE.BIKE を使い慣れていない人には貸したりしないでください。誰かに貸す際は、その方が本マニュアルを読み、完全に理解していることを確認してください
- ・ 乗車可能な許容範囲は、メインフレームと接地面、ライダーの股の位置との間に 3 センチ以上の空間を確保できることです
- ・ 全所持品を含むライダーの推奨総重量は、MATE City 2.0 の場合は 120 kg です。
- ・ MATE.BIKE は、主に舗装された道路を走行することを目的としています。それ以外の路面での使用は、重大な事故につながる可能性があるため、お勧めしていません
- ・ 交通渋滞の中を走行する場合は、細心の注意を払いながら走行してください
- ・ 乗車中に起こりうるすべての状況や状態を予測することは不可能であり、本マニュアルは、すべての状況下で安全に使用できることを表明するものではありません。MATE.BIKE を含む、いかなる乗り物の使用にはリスクが伴います。これらのリスクは予測や回避ができないため、あくまでもライダー自身の責任において対処してください
- ・ ご自身で分解したり、部品を修理したりしないでください

本マニュアルは日本国内の MATE.BIKE オーナーのためのものです。
適用される法律と規制を遵守し、ライダーご自身で責任を負うことにご注意の上、ご利用ください。詳細の交通ルールに関しましては、お住まいのエリアの自治体などに

お客さま自身でお問い合わせください。

MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE

TEL：03-6630-5191

営業時間：10:00~18:00（土日祝日を除く）

ASSMBLING YOUR MATE. FOR THE FIRST TIME

MATE.BIKE は、あらかじめ大体の部品が組み上げられているため、
少し手を加えるだけですぐに乗ることができます。

□厳守：説明に不明な点がある場合、または自転車の組み上げに不慣れな場合は、
本体とこのマニュアルをお近くの MATE.BIKE 取扱店に持ち込み、組み上げを依
頼してください。

HOW TO ASSEMBLE YOUR MATE.

MATE.BIKE を組み立てる

1. ハンドルバーステム（21）を直立位置まで起こし、ハンドルバーステム垂直ロック（28）を締めます（p.5 の写真参照）
2. シートポストクイックリリースレバー（3）を開き、サドル（1）を持って引き上げます
シートポスト（2）が所定の位置に固定されるように、シートポストクイックリリースレバーを締め直します。より強固に固定する必要がある場合は、シートポストクイックリリースレバーを開き、レバーの反対側のナットを締めてから、レバーを再び閉じます。サドルに乗る前に、シートポストがしっかりと固定されていることを確認してください
3. ペダル（13）をライディングポジションまで引き戻します。しっかりと固定されると「カチッ」という音がします。ペダルの締め付けが緩い場合は、ペダルをレンチで増し締めを行ってください

△警告：シートポスト（2）およびハンドルバーステム（21）の裏側に明記されている最小差し込み線より上にシートポストおよびハンドルバーステムを上げないでください。最小差し込み線より上に上げると、シートポストまたはハンドルバーステムのレバーが故障し、その結果、MATE.BIKE を制御できなくなる恐れがあります。

HOW TO ADJUST FRAME FOLDING LEVER

折りたたみレバーの調整方法



レバーとフレームの間隔調整

(レバーが少し外側に出ている、または緩いと感じる場合にのみ行う)

- 折りたたみレバー（17）の上にある安全ノブ（小さなノブ）をスライドさせると、レバーが開きます
- レバーを開いたら 3mm サイズの六角レンチをネジに刺し、反時計回りに 1/4 回転させ、レバーをフレームに近づけ、レバーの緩みをなくします
- それでもまだレバーが緩く感じたり、フレームに対して平らにならない場合は、さらに反時計回りに 1/4 回転させ、繰り返します
- レバーが簡単に閉まらなくなったら、時計回りに 1/4 回転させて、ちょうどよくなるまでネジを緩めてください

❏ **厳守：** 折りたたみ部分は、MATE.BIKE 本体の安全性を左右します。ご自身で調整した場合は、確実にロックされるかどうか、ご確認ください。不安な場合は、資格を持つ自転車整備士に点検いただくようお願いいたします。

***SHAPE AND
ELEVATE YOUR DAY***



THE COMPUTER DISPLAY

液晶カラーディスプレイ

操作方法

ディスプレイの電源を入れる：コントローラーボタンの右上の電源ボタン（⏻）を長押しする（オン / オフ）

アシストレベルを調整する：コントローラーボタンの+/- を押して、レベルを上げる / 下げる。5 段階調節可能

ライトを点灯させる：+を 2 秒以上長押しする。消灯も同じく、+を 2 秒以上長押しする

バッテリー残量を確認する：ディスプレイの右上で確認ください



※日本製のモデルはウォークアシストは作動しません。

HOW TO OPERATE YOUR MATE.

MATE.BIKE の操作方法

MATE.BIKE を組み上げ、充電を行ったら、いよいよライディングの準備完了です！

充電方法は p.16 を参照してください。

以下のシンプルなステップを踏んだら、すぐに出かけましょう。

1. メインフレーム下にあるバッテリーキーロック（16）にバッテリーキーを差し込み、反時計回りに回します。金属ピンがフレームからハンドルに向かって飛び出しているのが確認できれば、正しい方向に回転しています
2. 次にメインフレームにまたがり、両足をしっかりと地面につけて、乗る準備をします
3. ハンドルバー（19）左側にあるコントローラーの電源ボタンを押して、電源を入れます
4. ディスプレイ（18）が点灯したら、すぐにコントローラーボタンから指を離してください
5. ディスプレイ（18）が点灯したら、+または-を（約 0.5 秒）押して、アシストレベルを切り替えます
最低レベルは 1、最高レベルは 3 です。電源を入れたら、アシストレベルはレベル 1 から始まります
レベル 0 ではアシストはありません
6. 走り出すには、ペダル（13）を踏み始めるだけです。加速に慣れるまでは、アシストレベルを「1」に設定してペダリングを開始することをお勧めします。慣れてきたら、段階的により高いアシストレベルでペダリングをお試しください
7. 走行が終わったら、ハンドルバー（19）左側にあるコントローラーの電源ボタンを長押ししてください
ディスプレイ（18）が消えたら、すぐにボタンから指を離してください
8. ロックするには、バッテリーキーロック（16）をフレームと平行の向きから時計回りに 1 段階回して抜きます。バッテリー（27）を取り外す場合は、内に押し込みながら、さらに時計回りに 1 段階回します。折りたたみレバー（17）を開き、メインフレームが開くとバッテリーが取り出せます。バッテリーの充電率が 20% 以下の場合や、次のライドまでに確実に満充電にする必要がある場合は、必ずこのタイミングで充電してください



FOLDING YOUR MATE.

MATE.BIKE を折りたたむ



1. 折りたたみ中にケーブルに巻き込まれないよう、バッテリーキーロック（16）からバッテリーキーは外しておきます
2. 次に、フレーム中央に位置する折りたたみレバー（17）の安全ノブをスライドしながらレバーを引き、フレームを折りたたみます
ヒント：膝を使ってフレームを簡単に折りたたむことができます
3. ハンドルバーステム垂直ロック（28）の安全ノブをスライドしてロックを開き、ハンドルバー（19）を前輪の右方向に倒して折りたたみます。よりコンパクトに折りたたむ場合は、先にハンドルバー高クイックリリースレバー（12）を使ってハンドルバーを下げておきます
4. シートポストクイックリリースレバー（3）を開いてサドル（1）を下げます。下げたらレバーを締め直して、シートポスト（2）が固定されるようにします。このときシートポスト裏側にある番号線を使って元の高さを確認しておくと、MATE.BIKE を広げるときに便利です
5. ペダル（13）を内側に押し込みながら折りたたみます

⚠ 厳守：折りたたむときは必ず前輪を左に回し、ケーブルを挟まないように注意してください。ケーブルが損傷する恐れがあります。

UNFOLDING YOUR MATE.

MATE.BIKE を広げる



1. ハンドルバーステム（21）を起こし、ハンドルバーステム垂直ロック（28）を締めます
必要に応じて、ハンドルバー高クイックリリースレバー（12）を使ってハンドルバー（19）を希望の位置まで引き上げます
2. フレームを広げたら、フレーム中央の折りたたみレバー（17）を閉じて、所定の位置でロックします
3. シートポストクイックリリースレバー（3）を開き、サドル（1）を元の高さまで持ち上げます
上げたら、シートポスト（2）が所定の位置に固定されるようにレバーを締め直します。より強固に固定する必要がある場合は、シートポストクイックリリースレバーを開き、レバーの反対側のナットを締めてから、レバーを再び閉じます。サドルに乗る前に、シートポストがしっかりと固定されていることをテストし確認してください
4. ペダル（13）をライディングポジションまで引き戻します。しっかりと固定されると「カチッ」という音がします

⚠ 警告：シートポスト（2）の裏側に明記されている最小差し込み線より上にシートポストを上げないようにしてください。

BATTERY

バッテリー



内蔵バッテリー（27）は MATE.BIKE の心臓部であり、主要な動力源であるため、常に大切に扱うようにしてください。同梱されているバッテリーチャージャーでのみ充電いただけます。

バッテリーキーを使い、電源操作やバッテリーの取り出しをすることができます。

1. オン：バッテリーキーをフレームに対して反時計回りに 1 段階平行の向きまでにまわすと主電源が入ります
コントローラーボタンの「オン / オフ」ボタンを長押しすると、ディスプレイ（18）が点灯します
2. ロック：「オン」から時計回りに 1 段階まわすと主電源がオフになり、バッテリー（27）にロックがかかった状態でキーを抜くことができます。主電源を切る前にディスプレイの電源は切っておきます
3. バッテリーリリース：「ロック」から押し込みながらさらに時計回りに 1 段階まわすと、バッテリーロックが解除され、バッテリーを取り出すことができます

❗ 厳守：MATE.BIKE を駐輪する際は、バッテリーキーロック（16）を「ロック」の位置にセットして、バッテリーキーを取り外すことをお勧めします。



INSERTING THE BATTERY

バッテリーを入れる

1. メインフレームを開きます
2. バッテリーの給電部を下にして挿入してください
3. メインフレームを閉じます
4. バッテリーキーロック（16）を「ロック」に合わせ、バッテリーの位置をメインフレームに固定します

REMOVING THE BATTERY

バッテリーを取り出す

1. ディスプレイ（18）の電源を切り、バッテリーキーを「オン」から「バッテリーリリース」にまわして、主電源を切ります。「バッテリーリリース」まではバッテリーキーを押し込みながらまわします
2. バッテリー / メインフレームからバッテリーキーを取り外します
3. メインフレームを開きます
4. フィンガーフックに指をかけ、バッテリーをメインフレームから引き出します
フィンガーフックはバッテリーの全重量を支える強度はありません。サポートとしてお使いください。
5. メインフレームを再び閉じます。

CHARGING THE BATTERY

バッテリーの充電

△ 警告：付属しているバッテリーチャージャー以外でバッテリーを充電しないでください。バッテリーが損傷し、バッテリーの保証が無効になる場合があります。付属の充電器に記載されているすべての指示に従ってください。



本体から直接充電する

1. MATE.BIKE 本体から直接充電する場合は、電源がオフになっていることを確認してください（バッテリーキーが「バッテリーリリース」または「ロック」に入っている状態）
2. バッテリーチャージャーのプラグを、最初にフレームの充電口（15）に直接差し込み、次にコンセントに差し込んでください
3. 初めて充電する場合は、すべてのセルに電流が流れていることを確認するために、12 時間連続で充電することをお勧めします。この方法の詳細については、p.16 のバッテリーセルバランスのセクションを参照してください
4. 再充電の際は、30 ～ 40 回の充電ごとに完全放電することをお勧めします。それ以外の場合は、バッテリー残量 20 ～ 60% の状態で充電することが、バッテリー寿命を長くするために理想的です
5. 充電サイクルが実行され、電源を入れた直後は、実際のバッテリーの充電量が表示されない場合があります。バッテリーが調整され、正しい充電量が表示されるまでには、最大 30 秒または 1km/0.6 マイルの走行が必要な場合があります
6. 1 つのバッテリーチャージャーで複数の車体を充電する場合、充電器のプラグを都度コンセントから抜く必要があります。これにより、チャージャーがバッテリー BMS を認識して、フル充電を行うことができます

バッテリーを取り外して充電する

前の事項の手順通りにバッテリー（27）をメインフレームから取り外し、充電プラグをバッテリーに直接差し込んだあと、コンセントに差し込んでください。

□ 厳守：どちらの充電方法においても、ソケットに差し込むと、充電器のインジケーターが一時的に緑色になり、その後赤色になることを確認してください。インジケーターが緑色に戻ったら、バッテリー（27）は完全に充電されたことになります。その後充電器のプラグを抜き、続けてコンセントを抜いてください。

CHARGING THE BATTERY

バッテリーの充電

バッテリーの充電時間

付属のバッテリーチャージャーの場合

6 時間でフル充電できます（残量なしから満充電まで）

※現在のバッテリー使用量、気候条件、過去の充電サイクルにより異なります

バッテリーのセルバランスを整え、走行可能距離を最大にする方法

新しいバッテリー（27）の場合、走行距離やバッテリーの使用量に関わらず、初回から 3 回目のライド / 充電まで以下の作業を行います。

1. バッテリーを車体から取り外した状態で充電し、インジケーターが緑色になってから最大 4 時間放置します。ただし 12 時間以上は超えないようにしてください
2. 充電プラグをコンセントから外し、その後バッテリーから外してください
3. 普段通りに乗ります
4. 次の充電を行う前に、バッテリー残量がある状態であっても、あるいは完全放電されていても構いません
5. ステップ 1 ～ 3 を繰り返し、3 回使用してください
6. この作業を行った後は、通常使用いただけます

セルバランスを実施するタイミング

- ・ MATE.BIKE または新しいバッテリー（27）を初めて受け取ったとき
- ・ バッテリーを長期保管した場合
- ・ バッテリー持続時間や充電量の減少を感じたとき
- ・ 定期的を実施する場合は毎月の頻度でも構いませんが、1 ヶ月に 1 回を限度とし、それ以上は実施しないでください

バッテリーを良好な状態に保ち、安全に使用するために知っておきたいポイント

- ・ バッテリー（27）を指定された時間以上、バッテリーチャージャーに繋いだまま放置しないこと
- ・ 充電中にバッテリーから離れて放置しない
- ・ バッテリーが 0°C 以下の場合は充電しない。必ず本体が室温の状態で充電すること
- ・ 充電後、バッテリーを冷ましてから使用する
- ・ バッテリーが 40°C を超える場合は、バッテリーを冷ましてから充電する
- ・ 使用するたびに充電することを避ける

△警告：バッテリー（27）の動作対象想定温度は -15°C から 45°C の間です。極端な温度環境下（0°C 以下または 30°C 以上）に長時間置かれる場合、または長期保管する場合は、バッテリーを取り外し、0°C から 30°C の間で保管してください。長期保管の場合は、あらかじめ 70% 充電してください。本体温度が 0°C 以下または 40°C 以上のときは、バッテリーを充電しないでください。バッテリーに重大な損傷を与える可能性があります。

BATTERY USAGE

バッテリーの取り扱い

- ・ ペダル（13）を漕ぐ時は、トルク過負荷によるモーターへの負担を最小限にするため、ケイデンス（回転数）高めてください
- ・ 上り坂を走る時や、特に急な坂道では、できるだけ低い（一番楽な）ギアに設定し、少なくとも 60%の力で走らせてください
- ・ より長くお使いいただくために、不必要なブレーキは控え、できるだけ惰性で走行してください
- ・ 駐輪する際は、必ず電源をオフにしてください
- ・ 乗車中にバッテリー残量が少なくなった時は、ケイデンス（回転数）を高めて、モーターへの負担を最小限にしてください。バッテリー残量を保ちながら乗車し、帰宅後は速やかに充電してください
- ・ すべてのケーブルが良好な状態にあり、しっかりと接続されていることを定期的に点検してください
- ・ ブレーキパッドを定期的に点検し、交換が必要であるか、ブレーキローターと擦れていないか（バッテリー残量を著しく低下させる可能性があります）を必ず確認してください



バッテリースペック

バッテリー：リチウムイオン電池

電圧：36 V

容量：13 Ah

△警告：バッテリー（27）を分解しないでください。バッテリーを燃やしたり、穴を開けたり、水中に沈めたり、いかなる方法によっても損傷させないでください。バッテリーに手を加えると、その時点で保証が無効となります。

バッテリーが破損しているように見える場合は、使用しないでください。異音、異常発熱、液漏れなどの異常がある場合は、直ちに使用を中止してください。バッテリーは直射日光の当たらない、風通しのよい場所に保管してください。バッテリーの破損や消耗を防ぐため、0°Cから 30°C の間で保管してください。



SETTING UP MATE. FOR YOUR PERFECT FIT

快適なライドのために — サドルを調整する

サドルの高さ

サドル (1) の高さを調整するには、フレーム上のシートポスト (2) が入る部分にある、シートポストクイックリリースレバー (3) を開いてください。開いたら、最小差し込み線を超えない範囲で、サドルを好みの高さに調整します。サドルの向きが中央（フレームと一直線）になるように合わせてください。高さが決まったら、レバーを固く締め付け、サドルがしっかりと固定されるようにします。サドルを左右に動かしてみて、確実に固定されていることを確認してください。

△警告：シートポスト (2) の裏側に明記されている最小差し込み線より上にシートポストを上げないようにしてください。シートポストを最小差し込み線を超えて上に上げると、シートポストが破損し、MATE.BIKE を制御できなくなる恐れがあります。

SETTING UP MATE. FOR YOUR PERFECT FIT

快適なライドのために — ハンドルバーを調整する

ハンドルバーの高さ

あなたのライディングスタイルや快適な高さに合わせてハンドルバー（19）を調整します。
まず、フレームのフロントエンド横にあるハンドルバー高クイックリリースレバー（12）を緩めます。
ハンドルバーを希望の高さに調整し、ハンドルバーが前輪に対して垂直になるように中心を合わせます。その後、レバーをしっかりと締め付けます。締め付けたら、手でハンドルバーを左右に動かしてみて、確実に固定されていることを確認してください。



△警告：最小差し込み線（連続した縦線の溝部分）を露出させないでください。

最小差し込み線が完全に覆われて、見えない状態に合わせる必要があります。ハンドルバー（19）とフレームを繋ぐハンドルバーステム（21）がこれより高く上がっていると、差し込みが浅くなり、ステム・ハンドルバーの破損の恐れや危険性があります。



ハンドルバーの回転

ハンドルバー（19）の回転位置をあなたのライディングスタイルやお好みの位置に合わせて調整します。

まず、ハンドルバーにあるハンドルバーステム（21）のボルトを少し緩めます。ブレーキレバー（20）に無理なく手が届き、安全にブレーキができる位置であることを確認しながら、ハンドルバーを希望の位置まで回転させます。締め付ける前に、ハンドルバーがきちんと中央にあることを再確認してください。

その後、ハンドルバーステムのボルトをしっかりと締め付けます。次に、ハンドルバーステムとトップキャップの間隔が、ハンドルバーの両側とも均一であることを確認します。

しっかりと締め付けたら、ハンドルバーを手動で回転させ、確実に固定されていることを確認してください。

△警告：ハンドルバー（19）がしっかりと固定され、ブレーキレバー（20）が楽に届く位置にあることを確認してください。これを怠ると、走行中に車体制御ができなくなる恐れがあります。

また、ステムクランプの両側でステムベースとトップキャップの間隔が均等でないと、ハンドルバーが緩んだりネジが破損する可能性があります。これらのいずれかを正しく行ったかどうか不明な場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE へお問い合わせください。

SETTING UP MATE. FOR YOUR PERFECT FIT

快適なライドのために — ギアを操作する



MATE City は、7 段変速ギアを装備しています。

ギアチェンジは、シフターを手前に回すとギアが下がり、反対に回すとギアが上がります（シフター内のインジケーターを参照）。1 クリックごとに 1 段ずつギアチェンジされ、数字が上がるほど抵抗が大きくなります。ペダリングの快適さに合わせてギアを変えてください。スムーズなギアチェンジを実現するために、ギアチェンジの際は必ず後輪を正転させてください。また、急な坂道を登るときは、ギアを下げ、ペダリングケイデンスを上げてください。これらは、ドライブトレインのコンポーネントを長持ちさせることにもつながります。



HOW TO ATTACHMENT REFLECTOR

リフレクターの取り付け方法

リフレクターセットの同梱物



①リフレクター
(フロント) ×1



②リフレクター
(リア) ×1



③リフレクター
(スポーク) ×1

※フロント、リアのリフレクターにはあらかじめナット・ワッシャーが1セット付いています。



④アタッチメント (フロント) ×1



⑤アタッチメント (リア) ×1



⑥アタッチメント (スポーク) ×1



⑦ボルト
×1
M5×15mm



⑧M5 ワッシャー ×1



⑨プラスネジ ×1

フロントリフレクターを取り付ける



リフレクター①にあらかじめ付いているワッシャーとナットを使用して、アタッチメント④をセットします。
スパナ (10mm)⑬で動かなくなるまでしっかりと固定します。



フロントサスペンションフォーク (22) に裏側からボルト⑦→ワッシャー⑧→リフレクター①の順番になるように通します。

次にフロントサスペンションフォークの裏から六角レンチ (5mm)⑫でボルトを締め込んでいきます。
ある程度閉まってきたらフロントリフレクターの位置を調整し、プラスドライバー⑩で動かなくなるまで締め込みます。

❏厳守：夜間に走行する際は、前照灯をつけなければならない旨が道路交通法で規定されています。フロントリフレクターとは別に前照灯またはMATE X フロントライトをご用意ください。
詳しくは警視庁のサイトをご確認ください。

(<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/menu/rule.html>)

HOW TO ATTACHMENT REFLECTOR

リアリフレクターを取り付ける



リフレクター②にあらかじめ付いているワッシャーとナットを使用して、アタッチメント⑤をセットします。
スパナ（10mm）⑬で動かなくなるまでしっかりと固定します。



スイングアームにリフレクター②をセットして、プラスドライバー⑩でしっかりと固定します。

❑ 厳守：車両後部に反射材か尾灯を付けることが道路交通法で義務付けられています。定期的に車体を点検して反射材が外れたり、汚れたりしていないか、尾灯がきちんと点灯するかどうかを点検してください。詳しくは警視庁のサイトをご確認ください。

(<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/menu/rule.html>)

スポークリフレクターを取り付ける



スポーク (3) をリフレクター③とアタッチメント⑥で挟むようにして手で取り付けします。

一度取り付けをすると取り外しができないのでご注意ください。

前後のスポークにリフレクターを取り付けることにより、車体側面からの視認性を高めることができます。

BEFORE YOU RIDE CHECKLIST

乗る前にチェックする項目

△警告：MATE.BIKE を使用するたびに、以下の項目に従って必ず車体を

- ・ シートポストクイックリリースレバー（3）がしっかりと固定されていること
また、サドル（1）のボルトがしっかりと締まっていること
- ・ ハンドルバー（19）を固定しているボルトがしっかりと締まっていること
- ・ ハンドルバーステム垂直ロック（28）とその安全ノブが確実に固定されていること
- ・ フレームの折りたたみレバー（17）とその安全ノブがしっかりと固定されていること
- ・ キックスタンド、フロント / リアホイール、ブレーキローター、ペダルなど、
その他のボルトや留め付け部分がしっかりと締まっていること（オプション含む）
- ・ ブレーキとギアが正しく機能すること
- ・ バッテリー（17）が十分に充電されていること
- ・ バッテリーが MATE.BIKE に正しく装着され、コントローラーボタンの電源（Ⓞ）を長押し
をして、ディスプレイ（18）の電源が入ること
- ・ タイヤ（6）の空気が充分に入っていること。タイヤ側面の空気圧表記を確認すること
- ・ タイヤが損傷していないこと
- ・ 夜間に走行する際、フロントライトが取り付けられていること
- ・ 後方から確認できる位置にリアライトまたはリフレクターが取り付けられていること
- ・ フロントホイールクイックリリース（26）がしっかりと締められていること



MAINTENANCE

メンテナンス

チェーンの消耗

チェーン（11）やすべての可動部品が常に効果的に機能するように、必ず潤滑油を補給してください。潤滑油は、可動部が乾いているときに使用する必要があります。チェーンについては、洗車や雨天時は、乾いたチェーンに潤滑油を塗布してください。多用途タイプの潤滑油は、汚れを吸着して保持し、チェーンの寿命を縮める可能性があります。

シートポスト

シートポストクイックリリースレバー（3）が閉じにくくなったら、レバーの可動部に薄く潤滑油を塗布します。可動部が緩み、シートポスト（2）をしっかりと固定できるようになるまで、繰り返し開閉してください。

タイヤの空気圧

最低でも月に2回、理想的には週に1回、必ず点検してください。空気圧が低すぎる状態で走行すると、以下のようなことが起こります。

1. バッテリー充電あたりの走行距離が短くなる
2. タイヤ（6）の磨耗が激しくなる
3. パンクの危険性が高くなる
4. 空気圧が不十分なタイヤはオーバーステアになりやすく、ハンドル操作に影響がでる



MAINTENANCE

メンテナンス

油圧式ブレーキ

ブレーキの制動力不足を感じたら、以下の手順でトラブルシューティングを行ってください。油圧式ブレーキは、パッドが薄くなると自動補正されるため、通常、パッドの摩耗によって生じるローターとの距離は関係ありません。

ブレーキが鳴くときは

- ・ローターの油や残留物を取り除く必要があります
- ・パッドはヤスリで削り、パッドホルダーにしっかりととはめ込む必要があります。これにより、路面のほこりや油分による被膜が取り除かれます
- ・パッドは磨耗していきます。パッドの厚さが 0.5mm 以下になったら、新しいものを購入する時期です

制動力がないと感じたら

まず、ブレーキレバーがハンドルバーから少し外側に離れるように調整してみてください。レバーの内側にあるソケットスクリュー（止めネジ）を、適切な制動力が得られるまで、2mm の六角レンチで時計回りにまわします。

または、ブレーキシステム内のブレーキオイルが十分でないために発生することもあります。それは、以下のような原因で起こることがあります。

- ・油圧システムからオイルが漏れ出ている、またはブレーキのブリーディングとブレーキオイルの交換が必要である状態。このような場合は、お近くの MATE.BIKE 取扱店に MATE.BIKE を持ち込み、ブレーキのブリーディングとオイルの交換を依頼してください。ベストな性能を得るためには、ブレーキオイルを 1 年に 1 回交換する必要があります
- ・ブレーキオイルが空気に触れたことによるエア混入やオイルの汚染により、レバーからキャリアーへの制動力の伝達を妨げている場合は、お近くの MATE.BIKE 取扱店に MATE.BIKE をお持ち込みいただき、ブレーキオイルのブリード、または交換を依頼してください

ブレーキパッドが汚れていると、ブレーキの制動力が得られないことがあります。この場合はパッドを取り外し、ヤスリで削ってから、再びしっかりととはめ込む必要があります。

△警告：油圧ブレーキを使用する場合、ホイールやパッドを取り外した状態でレバーを引かないように注意してください。

ブレーキの安全な操作方法がわからない場合は、資格を持った自転車整備士に確認してください。ブレーキが正しく作動していない場合は、MATE.BIKE に乗らずに、お近くの MATE.BIKE 取扱店で、修理を依頼してください。

自転車のメンテナンスと整備は、すべて所有者の責任で行ってください。これを怠ると、保証が無効になったり、MATE.BIKE や部品の損傷、事故の原因となることがあります。

SHAPE AND ELEVATE YOUR DAY

都市でのライディングに特化したコンパクトでスタイリッシュなオリジナルモデル。磨かれた走行性、精緻なコントロールで軽やかに、安全に、そして自由に。迷路のような都会の道路や郊外のアスファルトの海も、まるでなめらかに泳ぐように駆け抜けます。エレガントなボディと機敏でよりレスポンスに優れた MATE City 2.0 は、すべての感覚に格別をもたらします。



モデル	MATE City 2.0
アシストリミット	24km/h
最大走行可能距離	最高 100 km (ペダルアシスト時)
寸法 (展開時)	長さ : 160 cm x 幅 : 57 cm x 高さ : 108 cm
寸法 (折りたたみ時)	長さ : 90 cm x 幅 : 40 cm x 高さ : 68 cm
重さ	21.5 kg
外装寸法	長さ : 100 cm x 幅 : 50 cm x 高さ : 70 cm
ライダーの身長許容範囲	142~210 cm
ライダーの体重許容範囲	~120 kg
フレーム	6061 アルミ合金折りたたみフレーム (下向き溶接)、20 インチタイヤ
フロントサスペンション フォーク	軽量鍛造合金製。レスポンスの良い調整可能なスプリングテンション。
リアサスペンション	30mm トラベル。メカニカルロックアウト 1.5kg
モーター	36V 250W、45Nm ブラシレスギア式リアドライブ
バッテリー	リチウムイオン 36V 13Ah
バッテリー チャージャー	54.6V 3.0A 100-240V、3 ピン セーフティコネクションプラグ
ディスプレイ	液晶カラーディスプレイ
タイヤ	20 x 1.95 インチ 全地形プロファイル
インナーチューブ	20 x 1.75 - 2.125 36mm
クランクセット	170mm 52T
フロントホイール	20 インチ
リアホイール	20 インチ
ハンドルステム	折りたたみ式 2 セクション テレスコピックシステム セルフロック、4 ボルト /M6 x 22
ハンドルバー	アルミハンドルバー

ハンドルクリップ	130mm TPR シングルバス (アルミクランプ付き)
ヘッドセット	28.6 x 44mm 302 AC
サドル	コンフォートフォーム
シートポスト	アルミポスト 33.9 x 450mm (プロテクターとクイックリリースクランプ付き)
ギアシフター	Microshift 製 7 速
チェーンリング	52T チェーンリング (バッシュガード付き)
フリーホイール	7 段 11-38T
リアディレイラー	Microshift 製 7 速
チェーン	118 リンク、耐摩耗
ブレーキ	TEKTRO 油圧式ブレーキ
ペダル	Wellgo 折りたたみ式、アルミ、9/16 インチ
キックスタンド	アルミ
その他同梱物	バッテリー バッテリーキー バッテリーチャージャー (充電器) リフレクターセット



REPLACEMENT PARTS

パーツの交換

タイヤ（6）、インナーチューブ、潤滑剤、チェーン（11）、ブレーキパッドは比較的消耗が早いため、常に予備を用意しておくとう安心です。

交換が必要な部品があり、交換方法がわからない場合や交換が難しい場合は、MATE.BIKE 取扱店に持ち込みいただくことをお勧めします。これには、ケーブル / ハウジング、ベアリング調整、ブレーキ調整、ホイール調整などが含まれます。最適なレベルの性能を確保するために、必ず MATE.BIKE のオリジナル部品と交換してください。

△警告：あらゆる機械製品と同様に各部品は、摩耗や強い負荷にさらされます。また素材や部品によって、摩耗や負荷への耐性が異なる場合があります。部品の設計寿命を超えた場合、突然故障し、ライダーが負傷する可能性があります。負荷の強い部分に亀裂、傷、色の変化があれば、部品の寿命が来ていることを示しており、交換する必要があります。

GENERAL TIPS

MATE.BIKE を長く楽しむコツ

- ・ご購入後から 1 ヶ月、3 ヶ月、6 ヶ月、12 ヶ月ごとに MATE.BIKE 直営店または取り扱い店舗でメンテナンスチェックを受けることをお勧めします。頻繁に乗る方は、よりこまめに点検をお願いしてください
- ・電気部品は完全防水ではありません。水浸しにしないでください
- ・サビを防ぐため、雨天時の走行後は必ず車体や部品を乾かしてください。車体とバッテリー（27）は乾燥した場所に保管してください

△警告：バッテリー（27）、モーターやコントローラーを分解しないでください。分解してしまうと、いかなる場合であっても保証の対象外となるだけでなく、非常に危険です。異常や問題が発生した場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE またはお近くの MATE.BIKE 取扱店へご連絡ください。メンテナンスの際は、必ずバッテリーを取り外してください。

WARRANTY

保証

◆保証について

株式会社 MATE.BIKE JAPAN は、自らの単独の裁量により、損傷、不具合、故障または他の損害が、MATE.BIKE 製品保証の対象となる原因によるものであるか否かを決定いたします。

◆保証条件

- ・本保証は、適用される強行法規によって別段の決定がなされない限り MATE.BIKE の原所有者のみに適用されます
- ・保証請求を行う場合、保証請求が処理されるためには、自転車の納品後 2 週間以内にオーナー登録を登録完了させる必要があります。また登録された名義のご本人のみ保証請求が可能となります
- ・保証請求は、問題発生日から 2 ヶ月以内に実施する必要があります
- ・本保証は、交換パーツそれ自体のみを保証対象とし、配送料や部品装着の費用を負担するものではありません
- ・自転車販売店が行ういかなる保証サービスまたは保証により交換されるいかなる部品についても、必ず事前に弊社から承認を受けることとし、例外は認めないものとします。また弊社は、あらゆる保証請求について、却下する権利を留保します

◆保証の対象外

製品を定期的に点検し、通常のサービスや部品交換の必要性をチェックするのはお客さまの責任において実施していただいております。

- ・取扱説明書の指示に対する不遵守、改造（カスタム）または不適切な組立に起因する損傷または欠陥
- ・不可抗力、事故、乱用、誤使用、放置、酷使、雨ざらし保管、商業的使用
- ・MATE.BIKE またはその部品の通常の損耗（例：タイヤ、インナーチューブ、ブレーキパッド、チェーンなど）
- ・不具合発生後の MATE.BIKE の使用や、自主的な修復を試みたことにより不具合発生時の当該箇所の状況確認が困難となっている車体

- ・MATE.BIKE に関する高度な知識を持つ修理対応店舗により行われた修理である場合を除く修理を試みたことによるパーツの損傷
- ・MATE.BIKE またはその部品に対する無許可の改造（カスタム）
- ・国内基準に適合しない仕様または設定となっている車体及び、当該車体を使用したことによる損傷
- ・サイト掲載画像と実際の製品の色味や質感の差異等
- ・機能面及び使用面に影響のない音や振動などの感覚的事象
- ・製造過程、点検整備中にやむを得ず生じる微細な傷、一度でも使用されたあとで発見された傷や塗装の不具合
- ・輸送中にやむを得ず生じる外観上の微細な傷、雨による多少の濡れ
- ・個人輸入やクラウドファンディング等の並行輸入品・中古品・セカンドオーナー
- ・時の経過による変化で発生したもの（塗装面、メッキ面、プラスチック部の色の退色など）
- ・点検、清掃、整備のための費用
- ・直営店以外での修理費用
- ・電話代、運送代、レンタカー代等の修理に付随する費用
- ・休業補償ならびに MATE.BIKE を使用できなかったことによる損害

◆14 日間限定 初期不良保証

お客さまが MATE.BIKE を受け取ってから 14 日以内に、重大な欠陥（意図したとおりに自転車を運転するための所有者の能力に著しい影響を及ぼすもの）が MATE.BIKE に発生した場合、弊社は、自らの裁量により、お客さまの MATE.BIKE の欠陥パーツを修理もしくは交換するか、または修理不能の場合には、合理的な期間内に、MATE.BIKE 全体を返品交換させていただきます。上記のとおり、弊社は、自らの単独の裁量により、損傷、不具合、故障または他の損害に関する請求が、「重大な欠陥」によるものであるか否かを決定いたします。これに該当する欠陥による修理または交換については、弊社が費用を負担して行います。

無償交換対応、または返品・返金対応の場合、納品時に MATE.BIKE が梱包されていたボックスが必要になりますので、初期状態の確認が完了するまでボックス及び梱包材は破棄しないでください。
※ボックスがない場合、配送業者による集荷配送にて対応いたします。配送に関わる費用に関しましてはお客さま負担となりますことを予めご了承ください。
※大型商品のため対応にお時間をいただく場合がございます。
※交換商品が完売している場合、返金対応になりますので予めご了承下さい。
※製品のご納車後、必ず製品の状態確認を行って頂きますようお願いいたします。

WARRANTY

保証

◆2年間限定 部品保証

部品保証の対象は次部品に限ります。

フレーム本体 / ディスプレイ / コンピューター / モーター / 配線 / 充電器 / バッテリー (1年)

上記の部品については、お客さまが MATE.BIKE を受け取った日から 2 年間、メーカーによる材料または製造上の欠陥がないことを保証します。本保証は通常の損耗を対象としていません。

通常の走行や自然な摩耗により損傷する可能性があるため、以下の部品は保証の対象外となります。
ブレーキ / タイヤ / フォーク / リアサスペンション / ステム / ハンドルバー / グリップ / シートポスト / サドル / ブレーキ / ボトムブラケット / クランクセット / ペダル / リム / スポーク / ホイールハブ / フリーホイール / スプロケット / ディレイラー / シフター / ワイヤリングハーネス / キックスタンド / リフレクターおよび金具類。その他消耗品の消耗、磨耗と考えられるもの。アクセサリパーツ、オプションパーツにつきましても同様に本保証の対象外となります。

上記の 2 年間限定部品保証は、交換パーツそれ自体のみを保証対象とし、配送料や部品装着の費用を負担するものではありません。お客さまがご自身の MATE.BIKE に修理が必要と考える場合または問題が発生していると考えた場合、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE にお問い合わせいただくか、MATE.BIKE 直営店舗にお持ち込みいただき、保証適用の判断とサポートを受けられることをお勧めいたします。

◆1年間限定バッテリー保証

リチウムイオンバッテリーについては、最初の購入日から 1 年間、メーカーによる材料または製造上の欠陥がないことを保証します。バッテリーの使用状況を知ることができないため、弊社では、バッテリーの寿命または充電容量の減少を保証することはできません。

◆保証の適用地域・適用車種

本保証は、日本国内で使用され、日本国内で販売された車体のみに適用いたします。したがって、海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りになります。



TROUBLESHOOTING

トラブルシューティング（故障かな？と思ったら）

電源が入らない、または充電器が接続されているときだけ電源が入る	1. バッテリーキーが「オン」の位置になっていることを確認してください 2. 主電源を切った状態で充電器のインジケータが緑色に点灯するまで、バッテリーを4時間以上かけてフル充電してください。p.15「バッテリーの充電」を参照してください 3. ケーブル接続状態をすべて点検し、ケーブルに損傷や汚れがないかを確認してください 4. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までご相談ください
バッテリーに接続されていても充電器のインジケータが緑色のまま、またはバッテリーがフル充電できない	1. 充電器をバッテリーに接続した後に、コンセントに差し込んでください 2. 複数のバッテリーを充電する場合は、それぞれ充電が完了するたびに一度コンセントを抜いてください 3. MATE.BIKE からバッテリーを取り出してから充電してください 4. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までご相談ください

電源は入るが、ペダルアシストが機能しない	1. パワーアシストレベルが「1」以上の値であることを確認してください。レベル「0」ではアシストパワーは作動しません 2. 再起動してください。起動中にブレーキレバーを引かないでください（ブレーキがモーター動作を切ってしまう） 3. アシストレベル設定をディスプレイで確認してください 4. ケーブル接続状態をすべて点検し、ケーブルに損傷や汚れがないかを確認してください 5. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE まで、上手いかなかった内容を添えてご連絡ください
----------------------	--

TROUBLESHOOTING

トラブルシューティング (故障かな?と思ったら)

ステアリングがおかしい ペダルが漕ぎづらい	1. タイヤに表記されている値までタイヤに空気を入れてください 2. パッドに磨耗がないかブレーキ調整を確認してください (タイヤを持ち上げて回転させ、著しく磨耗していないか確認してください) 3. MATE.BIKE 取扱店に持ち込み、原因となる問題を調べてもらってください
バッテリーがフル充電 されない	1. バッテリーが新しい場合は、充電器のインジケーターが緑色に変わってから最大 4 時間まで過充電してください 2. 本マニュアル内、バッテリーの章を参照してください。 3. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までご相談ください
ブレーキが軽すぎる、 またはブレーキの異音が 気になる (ブレーキの修理または 調整が必要です)	1. 本マニュアル内、「メンテナンス」のブレーキの章を参照してください 2. 芯ずれや磨耗がないかブレーキ調整を確認してください 3. ブレーキローターを掃除し、オイルやグリース、その他の残留物が残っていないか確認してください 4. MATE.BIKE 取扱店に持ち込み、ブレーキを点検してもらってください

ギアが正しく切り替わらない (ディレイラーの調整が 必要です)	1. リアディレイラーハンガーが正しい位置にあるか確認してください (特に転倒や運搬、配送時など MATE.BIKE がディレイラーハンガー側に倒れた場合) 2. シフターケーブルのテンションが正しく調整されているか確認してください。p.20 の「ギアについて」を参照してください 3. MATE.BIKE 取扱店に持ち込み、ギアやシフト調整の点検を行ってください
---------------------------------------	--

MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE

お問い合わせフォームはこちら



TEL : 03-6630-5191

営業時間 : 10:00~18:00 (土日祝日を除く)

OUR STORES

MATE.BIKE 直営店



MATE.BIKE TOKYO

青山本店

〒107-0062 東京都港区南青山 6 丁目 8-18

TEL : 03-6277-3987

BUSINESS HOURS : 11:00~19:00 / 不定休



自由が丘店

〒152-0035 東京都目黒区自由が丘 2 丁目 1 5-2 2

TEL : 03-6277-3987

BUSINESS HOURS : 11:00~19:00 / 不定休



MATE.BIKE OSAKA

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 4 丁目 11-14

TEL : 06-6484-8130

BUSINESS HOURS : 11:00~19:00 / 不定休



IT'S NOT JUST A BIKE.

IT'S A VEHICLE OF PERSONAL EXPRESSION.

MATE.BIKE はアーバンモビリティに対する概念を変えていきます。

プロダクトを自己表現、自己実現、未来を築くためのツールに変えていくこと。

人々の世界観や価値観を広げ、楽しみながらより良い選択ができる商品を提供する。

この目標はいつまでも MATE.BIKE の DNA です。

そして革新を表現するために設ける 3 つの視点は、ファッション、テクノロジー、サステナビリティ。

常にそのすべてが連動することを目指しています。

MATE.BIKE は、決して単なる自転車ブランドではありません。

日々の体験をエネルギーに満ちた特別なものに変えてくれる存在であり、

人生のあらゆる場面に革新をもらたしてくれる存在でいたいと考えます。



GET IN TOUCH

その他、ご質問やご意見等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。
わたしたちはお客さまと、お客さまの新しい MATE.BIKE をサポートいたします。

 @matebike
 @matebikejapan

株式会社 MATE.BIKE JAPAN
107-0062
東京都港区南青山 6 丁目 8-18
<https://mate-bike.jp>